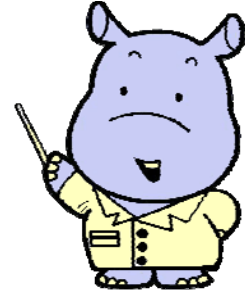


# ホームページによる事業PRについて

水再生水質課 福田好史 ○大森嘉子

## 1. はじめに

ホームページを利用した事業PRやイベントなどの情報提供は重要な役割を持っていますが、三局再編後、局の事業が巨大化・多様化しホームページ内の情報の整理がされていないのが現状です。そこで水再生水質課では、とくに当課業務に関わりのある下水の処理に関するページをユーザに分かりやすいホームページを目標としリニューアルしましたので報告いたします。



## 2. 現在のホームページの問題点

三局の合併により事業量が増えたため必然的に情報量が増えてしまい、トップページが雑然としてしまっています。また各事業内容に基づいたカテゴリー分けが十分にされていないため、情報が重複していたり、反対に必要な情報がいつまでたっても見つからなかったりなど、ユーザにとっては使いにくい構成になってしまっています。当課のページも情報が古いままで更新されていなかったり、過去に作ったものを部署名だけ変えたページがあるような状態でした。一方、ホームページを情報発信のツールとして最大限に活用している課や事業も多く、取り組みが進んでいるページは非常に充実しています。

局全体的な取り組みが必要ではあると考えられますが、まずは当課に関連のある業務のページの作成・更新により、下水道事業PRを行うことにしました。

## 3. 作成にあたって

まず課内職員数名でホームページ作成プロジェクトを作り、編集長担当・イラスト担当・原稿担当・html担当の担当者を決め、全体の方針などは全員で意見を出し合い、各分担作業については編集長担当が進行状況を確認しながら効率的に作業を進めることにしました。

次に一般的に見やすいホームページを作成するにあたっての重要項目として①テーマを決める②内容(コンテンツ)を決める③デザインを決める、の三点に留意し、作成を進めました。

### ①テーマを決める

水再生水質課の一番重要な業務は下水の水質管理です。横浜市から発生する下水約160万m<sup>3</sup>を毎日適正に処理し自然に還すことが最も重要な事業であり、それを一番のテーマとしました。その中で下水処理の仕組みについての説明は欠かせませんが、すでに下水処理の説明をしている本やホームページなどは多くあるため、横浜市にしかない独自性をもったページとなるよう、一般的な解説に加え高度処理法や微生物の役割などについて、ユーザに高校生以上を想定したより専門的な情報の提供をすることにしました。

### ②内容(コンテンツ)を決める

①で決めたテーマを元に、水再生センターごとの水質測定結果の月平均値を掲載する水質データのページ、より良い処理を模索し当課職員が調査や研究をしたレポートのページ、下水処理の仕組みを説明する標準活性汚泥法・高度処理法などの解説のページ、微生物の役割・種類や生態を紹介したページ、水質に関する用語解説のページを作成することにしました。

### ③デザインを決める

ページデザインはホームページを作成する上で一番重要な要素のひとつです。まず訪問したユーザの目に飛び込むものがイラストや画像でありこの第一印象がそのページの内容を読むきっかけともなります。次にページを読み始めたときに、ただ情報が羅列されているのでは読みにくいですが、情報を要素ごとに分けて読みやすくすることで、理解度の向上を促せるようにすることにしました。

最近では企業などを中心に Flash などを駆使した色が鮮やかで動きをもったページが増えてきていますが、一瞬は目を引きませんがそればかりが目立ったり、あらゆるパソコン環境に対応できない可能性があります。そこですべてのイラストについて動画と静止画を作成しどちらが見やすいかを検討し、容量が極端に大きくならないようにしました。またユーザがどのページを見ているのかを把握しやすくするため目次のようなものを表示することにしました。

### 4. 実際のページ紹介及び技術的工夫点

昨年度より順次公開、更新をした中で本報告ではとくに下水処理の仕組み、高度処理の仕組みのページについて報告します。

水再生センターは市民生活には欠かせない重要な役割を果たしていますが、多くの人にとっては入る機会がなくイメージしにくい施設なので、全体のイメージと処理の流れを理解しやすくするため、上から見た全体図と施設断面図をページ幅いっぱいを使った俯瞰図(図1)を作成しました。

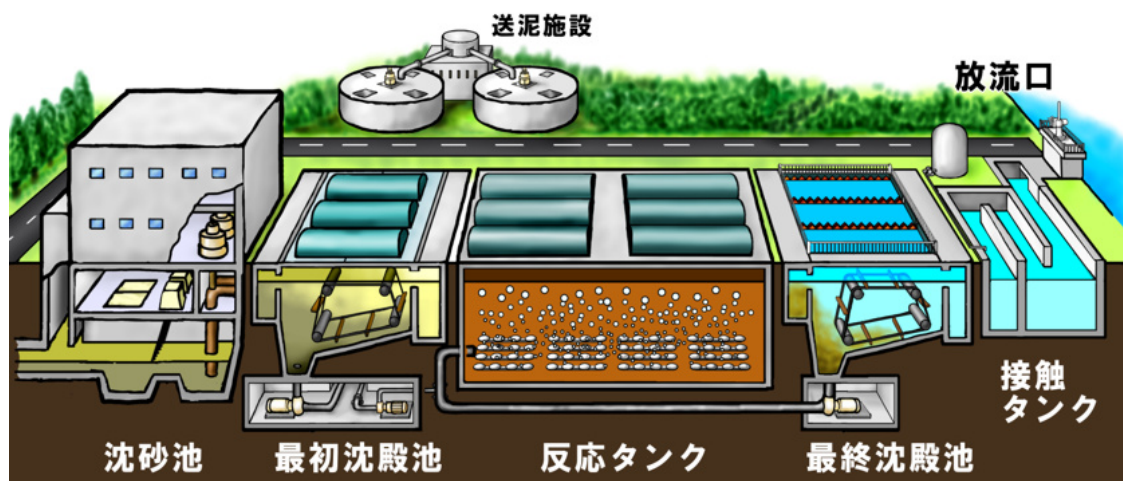


図1 水再生センター俯瞰図

またその俯瞰図をクリックابلマップ(クリックすると所定リンクにジャンプする)にし、各処理施設を一つ一つ細切れにした模式図と施設の写真(図2)を並べ解説を加えました。その際、模式図にはアニメーションを採用し、施設が実際にどのような働きを持っているかをイメージしやすくしました。



図2 模式図と施設の写真

目次については図3のような見出しをページ左 1/4 部分に作成しました。見出しを作ることで全体の構成、いま見ているページの位置を把握できるだけでなく、ページの行き来を簡単にできるようにしました。各ページを同じ構成とデザインにし、上から下へ順に概要から詳細の流れになっています。また「お気に入り」などを常に表示しているユーザが多数いることを想定し、「お気に入り」を開いた状態でもページの段組がずれないように設定してあります(図4)。

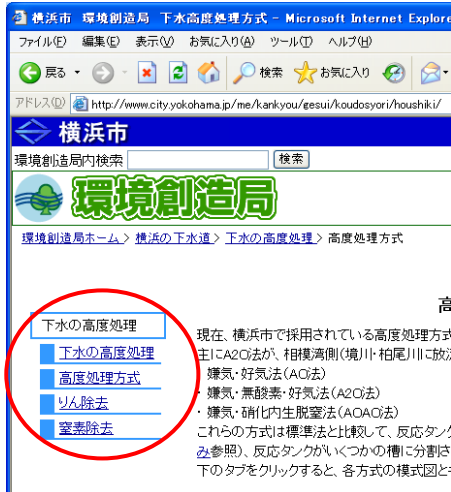


図3 見出し



図4 お気に入りを開いた状態

上述したようにイラストや画像はユーザがページを訪れたときに最初に目に飛び込むもので、ホームページ作成の中でも一番重要であるといえます。ホームページ掲載用のイラスト作成には高度な技術を要するため専門業者への委託も考えましたが、今回はイラストすべてを当課職員が作成したため大幅な経費削減となりました。さらに、水再生センターは複雑な構造をした特別な施設ですが、それを熟知している職員が作成したため、細部まで分かりやすく表現することができました。各ページの内容についても直接各業務を担当している職員が作成したため、詳しく新しい情報に加え、市の施策なども含まれた充実した内容となっています。

## 6. 作成による効果

各センターの研修などで利用していただいているほか、庁内外から問い合わせ等をいただいています。

- ・パンフレットへの提供 (水再生施設管理課)
- ・下水道展でのパネル画への提供 (下水道事業団・総務課)
- ・研究機関、他都市市民からの問い合わせ (調査・研究発表、高度処理について)

## 7. 今後について

今回はパソコンやイラストに長けた職員がいたことで作業が円滑に進み、経費の削減もできましたが、技量のある職員に頼ってしまった部分も強く、これから継続的に平均的なページを作成、更新していくためには委託などを視野に入れていく必要があります。

昨年度から今年度にかけて作成してきたページはすでに公開となっていますが、ホームページは公開からよりよいページになっていくもので、最新の情報への対応などを迅速に行えるよう、定期的な更新をしていく予定です。またその際には下水道関連部署と共同して横断的な事業PRページを作成していけたら、幅の広い情報が掲載でき市民にとって使いやすく分かりやすいホームページができるのではないかと考えております。